2026 年度日本沿岸域学会講習会

「東日本大震災から 15 年、復興の現在地とこれからの海辺のあり方」

日　時　：　2026 年 10 月 7 日（水）14:00～17:00

会　　場　：　日本大学理工学部駿河台校舎 1 号館（121 会議室）+　オンライン（ZOOM 配信）

参　加　費　：　正会員 3、000 円、学生会員 1、000 円、非会員（（一般）4、000 円　（学生）2、000 円）

※連携学会（日本海洋政策学会）の会員については正会員の参加費を適用します

定　　員　：　会場　100 名　/　オンライン 100 名

意見交換会　：　17:30～19:30　嘉賓御茶ノ水店　お 1 人様　4,000 円

東京都千代田区神田駿河台 3-2-1　新御茶ノ水アーバントリニティビル B1F　※会場から徒歩 5 分ほど

お申込方法　：　講習会・意見交換会は、下記 QR コード、当学会 HP からもお申込みいただけます

HP：https://www.jaczs.com/　※9/30　17:00迄

【講習会の目的】

東日本大震災から 15 年の歳月が経過した現在、復興まちづくりが展開されてきた東北沿岸部の被災地では、住民生活、漁業・水産業、観光、生態系、景観などの視点から概観すると、住環境を取り巻く様相が地域ごとに異なりをみせる。

2024 年発生の能登半島地震および、その復興においても、また異なる教訓が蓄積されつつある昨今、将来的に多様な津波災害を想定した事前復興の必要性が議論されている。東北沿岸部・能登半島の復興の現在地を多角的な視点から再確認（評価）し、参加者各自が今後の海辺のあり方を考える上での新たな視座を構築していただくことを講習会の目的とする。

【講習会プログラム】

司会進行：菅原遼（企画運営委員・講習会企画担当代表、清水建設株式会社）

14:00-14:10　開会あいさつ　趣旨説明

企画運営委員：岩田繁英（東京海洋大学　助教）

14:10-15:50　講演

①『津波被災地域における復興まちづくりと産業・生業再生の取組み』
講師：佐藤　敬（人事院　事務総局サイバーセキュリティ・情報化審議官（前復興庁宮城復興局長））

②『俯瞰的視点からみた復興まちづくり～成果と課題～』
講師：星上　幸良（日本大学　教授）

③『南三陸の事例から考える＜海辺の備え＞とは』
講師：太齋　彰浩（一般社団法人サスティナビリティセンター　代表理事）

④『東北の沿岸資源と漁業の現状』
講師：片山　知史（東北大学　教授）

≪休憩≫　10 分

16:00-16:55　パネルディスカッション

進行：菅原　遼
パネリスト：佐藤　敬　氏、星上　幸良　氏、太齋　彰浩　氏、片山　知史　氏
岩田　茂秀　委員、古川　恵太　委員

16:55-17:00　閉会あいさつ

企画運営委員：古川恵太（NPO 法人海辺つくり研究会　理事長）

土木学会認定 CPD プログラム

講習会

意見交換会

※申込締切 9/3017:00 迄

〒105-0001　東京都港区虎ノ門3-1-10　第2虎の門電気ビルディング4F
（一財）みなと総合研究財団内　日本沿岸域学会　事務局　（上島・藤田）
E-mail：info@jaczs.com　TEL：03-5408-8295

本講習会は土木学会継続教育（CPD）認定プログラムです。